

第2章

第2期八千代町まち・ひと・しごと 創生総合戦略

第2章 第2期八千代町まち・ひと・しごと創生総合戦略

1. 総合戦略の基本的な考え方

(1) 総合戦略の目的

急速な少子高齢化の進展や人口の東京圏への一極集中などが要因で、地方では人口減少に歯止めがかからない状況が続いています。この人口減少問題は、地方自治体の存続がかかる喫緊の重要課題であると捉えられています。それらの課題解決に向けて、それぞれの地域が住み良い環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持することを目的とし、平成28年3月に策定した八千代町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間が令和元年度をもって満了を迎えました。それに伴い、これまでの取り組みの検証を踏まえたうえで、人口減少問題に果敢に挑戦していくため、令和2年3月に第2期八千代町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第2期総合戦略」という。）を策定し、取り組みを進めていくものです。

(2) 総合戦略の位置付け

第2期総合戦略は、八千代町人口ビジョンの実現を目指す基本目標や今後の施策の方向性、具体的施策を取りまとめたもので、まち・ひと・しごと創生法第10条の規定による計画として策定しました。

第2期総合戦略については、国・県の総合戦略を勘案するとともに、八千代町総合計画と整合性をはかり、特に人口減少問題に特化した施策を中心にまとめました。

(3) 総合戦略の計画期間

令和2年度（2020年）から令和6年度（2024年）までの5年間とします。

(4) 総合戦略推進にあたっての基本方針

第1期総合戦略の検証からは、農業に関する生産流通環境や子育て支援環境など一定の成果が得られた分野も多い一方、定住や交流の促進、まちの資源を活用した魅力づくり・情報発信など、人口減少に歯止めをかける施策として、より効果が期待される分野の強化について、包括的かつ継続的に取り組むべき課題として認識されています。

第2期総合戦略の推進にあたっては、第1期で掲げた4つの基本目標を継承・維持するとともに、明らかになった課題に対応しながら、本町の実情に合った、八千代町らしさを大切にしたい施策を持続的に取り組んでいくことを基本とします。

2. 総合戦略の施策の方向

《基本理念》

若者にとって魅力ある、住み続けたい“まち”をつくる

地域の特性を活かした、働きやすい“まち”をつくる

安心して子どもを産み育てることのできる“まち”をつくる



《将来像》

**町の魅力を最大限に活かし
人・地域が輝く安全・安心なまち 八千代**

《第2期総合戦略での基本目標》

〈国の基本目標と横断的目標〉

基本目標1
稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

基本目標2
地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

基本目標3
結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標4
ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

横断的な目標1

多様な人材の活躍を推進する

横断的な目標2

新しい時代の流れを力にする

〈八千代町の基本目標〉

◆基本目標Ⅰ
若い人が定住できる
『しごと』をつくる

◆基本目標Ⅱ
八千代町への新しい
『ひと』の流れをつくる

◆基本目標Ⅲ
安心して子どもを産み育てられる
『まち』をつくる

◆基本目標Ⅳ
安全・安心な暮らしの実現と
魅力ある地域をつくる

3. 総合戦略の取り組み方策

基本目標Ⅰ 若い人が定住できる『しごと』をつくる

【目 標】

多くの若者が町に定住できるよう、本町の基幹産業である農業の活性化をはかるとともに、新たな雇用の場を創出する企業誘致の積極的な推進や、町内企業との連携強化による地元雇用の拡大を進めます。

また、創業支援などにより、町民生活に不可欠な商業やサービス業の活性化をはかります。

●数値目標：町内事業所の従業者数

【経済センサス】

基準値(平成28年)：7,454人 ⇒ 目標値(令和3年)：7,500人

●数値目標：新規就農者数

【茨城県（結城地域農業改良普及センター）】

基準値(平成27～令和元年度)：27人 ⇒ 目標値(令和2～6年度)：30人

【主な取り組み】

(1) 農業の活性化

① 生産・流通体制の整備

- 強い農業・担い手づくり総合支援事業
- 儲かる産地支援事業（野菜・果樹・普通作・特用作物）
- 農産物流通体制の充実強化

② 農業後継者の確保と担い手の育成

- 農業次世代人材投資事業
- 認定農業者の育成支援
- 農業後継者対策事業

③ 八千代ブランドの推進、6次産業化の支援

- 農産物のブランド化の推進
- 農業の6次産業化の支援
- 加工品の開発や販路開拓等の支援

(2) 地元企業への支援と企業誘致の促進

① 地元企業への支援

- 新規学卒者雇用促進奨励金交付事業
- 立地企業フォローアップ事業
- 立地企業環境整備促進事業
- 操業拡大及び工場敷地拡張の支援

② 企業誘致の促進

- 企業誘致活動促進
- 社宅・社員寮整備支援事業
- 固定資産税の課税免除
- 市街化区域編入(工業専用地域の拡大)の推進
- 国・県道や筑西幹線道路の整備促進
- 幹線道路へのアクセス向上
- 1 級町道 8 号線道路改良事業
- 八千代工業団地周辺道路の整備

(3) 雇用の確保と創業支援

① 地域における雇用の促進

- 就職求人情報の提供
- 地元高校と事業所との情報交換会の実施
- 新規学卒者雇用促進奨励金交付事業
- 社宅・社員寮整備支援事業
- わくわく茨城生活実現事業

② 新規創業の推進

- 中小企業事業資金保証料補助
- 八千代町創業支援事業計画に基づく新規創業者への支援

基本目標Ⅱ 八千代町への新しい『ひと』の流れをつくる

【目 標】

本町の農産物や農地を積極的に活用した交流活動を推進するとともに、空き家対策や住宅地の確保など、本町への移住や定住促進をはかる環境整備を進めます。

さらに、八千代町の魅力を全国に発信し、定住の第一歩となる町の魅力を活かした観光の振興や関係人口の創出に取り組み、本町への転入者の増加を目指します。

●数値目標：住民意識調査で「住み続けたい」と回答する町民の割合

基準値(令和元年度)：63.9% ⇒ 目標値(令和6年度)：70.0%

●数値目標：転入者数（4年間の累計）

【常住人口調査】

基準値(平成27～30年)：3,649人 ⇒ 目標値(令和2～5年)：4,000人

【主な取り組み】

（１）移住・交流の推進

① 都市農村交流の推進

- 都市農村交流事業
- クラインガルテン八千代利用者と町民との交流

② 移住の推進

- 転入者住まい応援事業
- いばらき移住・二地域居住推進強化事業
- 移住・定住促進モニターツアー（シティプロモーション事業）

③ 空き家の利活用の推進

- 空き家の実態調査
- 空き家バンクの整備
- 空き家相談体制の整備

（２）観光の振興と関係人口の創出

① 地域資源を活用した観光の振興

- 八千代グリーンビレッジの積極的な活用
- 観光 PR 事業

② 関係人口の創出

- ふるさと納税推進事業
- 人的ネットワークの構築
- 民間のまちづくり事業等への支援

（３）定住の促進

① ふるさとを愛する心の醸成と若者の交流支援

- 学校教育における「ふるさと教育」
- 社会科学習資料副読本作成事業
- 子どもたちの地域活動への積極的な支援
- はたちのつどいの開催
- ふるさと八千代カミングデイ事業

② 暮らしやすい定住環境の整備

- 保留地住宅支援助成事業
- 新婚家庭家賃助成事業
- 転入者住まい応援事業
- 浄化槽設置整備補助事業
- 八千代中央土地区画整理事業
- 健康寿命の延伸
- 庁舎等公共施設での外国語案内標記

基本目標Ⅲ 安心して子どもを産み育てられる『まち』をつくる

【目 標】

若者の出会いの場の提供や結婚支援、妊娠から出産、子育てへの切れ目のない支援充実に努めるとともに、誰もがいきいきと活躍できる地域づくりの推進など、結婚を望む若者が希望を実現し、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を進めます。

●数値目標：出生数（４年間の累計）

【常住人口調査】

基準値(平成27年~30年)：561人 ⇒ 目標値(令和2年~5年)：600人

●数値目標：住民意識調査で「子育て支援策の充実」で満足と感じている人の割合

基準値(令和元年度)：37.6% ⇒ 目標値(令和6年度)：45.0%

【主な取り組み】

（１）結婚支援の充実

- ① 相談体制の充実
- ② 出会いの場づくりの推進

- いばらき出会いサポートセンター等との連携強化
- 婚活イベントの実施
- 婚活イベント開催支援事業
- いばらき出会いサポートセンター会員登録推進事業

（２）子育て支援の充実

① 妊婦、母子の健康づくり

- 子育て世代包括支援センター（子育て支援拠点機能併設）整備
- 不妊治療助成事業
- 妊婦健康診査
- 乳幼児健康診査
- 母子保健事業
- 小児救急医療体制の整備
- 3歳児の親のための子育て応援教室
- 保健センターにおける親子交流の開催
- ブックスタート事業

② 子育て環境の充実

- 子育て世代包括支援センター（子育て支援拠点機能併設）整備
- 子育て支援活動運営事業
- 出産子育て奨励金支給事業
- 養育支援訪問事業
- 子育てアプリの導入

（３）教育・保育の充実

① 教育・保育環境の整備

- 地域住民と子どものふれあい事業
- 教育・保育施設運営研究事業
- 認定子ども園施設整備事業

② 教育・保育内容の充実

- 英語検定受験チャレンジ補助事業
- 英語教科指導主事配置事業
- 小・中学校読書推進事業
- 学びの広場サポート事業
- 大学生学校サポーター派遣事業

（４）しごと・子育て環境の整備

① 魅力ある職場環境づくり

- 男女共同参画社会の啓発・普及
- 子育てにやさしい職場づくり
- 多様な働き方を支援する環境づくり

② 誰もがいきいきと働くことができる就業環境づくり

- 就職応援セミナー
- 出張ハローワーク！ひとり親全力サポート
- 就労移行支援・就労継続支援事業（障害福祉サービス訓練給付）
- 外国人の日本語習得支援

基本目標Ⅳ 安全・安心な暮らしの実現と魅力ある地域をつくる

【目 標】

地域の防災・防犯体制の充実など、定住環境の前提となる安全・安心な暮らしを確保します。

さらに、公共交通や道路体系の整備、利用しやすい公共施設の維持・確保など、住民にとって利便性が高く効率的な暮らしができる環境整備を進めます。

●数値目標：住民意識調査で「住みよい」と回答している町民の割合

基準値(令和元年度)：52.8% ⇒ 目標値(令和6年度)：60.0%

●数値目標：住民意識調査で「交通安全・防犯対策」で不満と感じている人の割合

基準値(令和元年度)：12.5% ⇒ 目標値(令和6年度)：10.0%

【主な取り組み】

(1) 安全・安心なまちづくり

① 消防団の充実強化と地域防災の充実

- 消防団員活動用装備品整備事業
- 消防団員自動車運転免許取得費補助事業
- 防災士資格取得助成事業

② 防災体制の強化

- 防災備蓄品整備事業
- 災害時連携協定の締結
- 地域防災計画、各種マニュアルの整備
- 総合防災訓練の実施

③ 防犯体制の強化

- 防犯カメラ設置事業
- 防犯カメラ等設置に関する補助事業
- 防犯灯の設置拡充及びLED化事業
- 防犯教育の実施
- 防犯パトロールの強化

（２）移動の利便性向上 （日常の移動環境の強化）

① 公共交通の確保

- 地域公共交通推進事業
- 地域間幹線系統確保維持費補助事業
- 福祉タクシー利用料金助成事業

② 広域的ネットワークの整備

- １級町道８号線道路改良事業
- 国・県道の整備促進
- 筑西幹線道路の整備促進
- 幹線道路へのアクセス向上

（３）公共施設の維持・活用

① 公共施設の整備と適正な維持管理

- 公共施設の計画的整備と維持管理
- コミュニティ施設整備事業
- 未利用公共用地の有効活用と処分の推進
- 公共施設の長寿命化計画

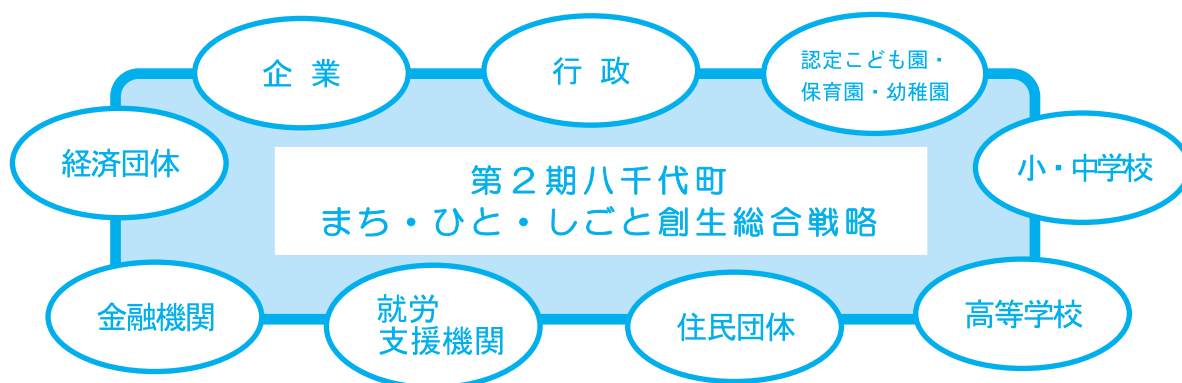
② ICTの利活用による情報発信

- 公共施設等における情報環境の向上
- 町公式ホームページの充実
- 多様な情報通信技術の活用

4. 総合戦略の推進に向けて

(1) 官民が連携した取り組み体制

第2期総合戦略では、施策や主な取り組み事業等の実施の効果を最大限に発揮させるため、関係機関や各種団体との連携・強化をはかり、活力ある地域づくりの実現を進めます。



(2) 計画の評価

第2期総合戦略での施策や主な取り組み事業等については、庁内関係各課で毎年の実施状況と成果を取りまとめます。

また、八千代町まち・ひと・しごと創生戦略会議において、成果を検証します。

令和6年度（計画の最終年度）に住民意識調査を実施し、計画の総合的な評価を行い、町民の意向を把握します。

(3) 計画の見直し（PDCAサイクル）

施策や主な取り組み事業等の評価を踏まえ、社会・経済状況の変化に対応しながら、柔軟に見直しを進めます。

計画の見直しを行う場合には、八千代町まち・ひと・しごと創生戦略会議による審議と承認を経て、町議会へ報告し、関係する人々の相互理解のもとで見直しを進めます。

